

廿日市市

平成28年1月1日 第55号

シルバーだより

迎春



佐伯：浅原神楽団

	会 員 数
正会員	760人
男 性	579人
女 性	181人
(27年12月10日現在)	

全国シルバー会員100万人
※ 当センターでは1010人以上の会員獲得を目指しています。

編集・発行

公益社団法人 廿日市市シルバー人材センター

〒738-0023

廿日市市下平良1-1-5

電話 0829-20-1468 FAX 0829-20-1470

ホームページ <http://webc.sjc.ne.jp/hatukaichi/>



広報・福利厚生部会

⇒チエブクロー（シルバー人材センター「ゆるキャラ」デザイン）



新年のごあいさつ



理事長 岡崎 美弥子

新年明けましておめでとうございます。
会員の皆様におかれましては、ご家族揃ってお健やかに新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年を振り返りますと、9月には関東・東北豪雨災害により発生した茨城県常総市内での鬼怒川の越水・破堤災害では甚大な被害となりました。被災された皆様に謹んでお見舞いを申し上げたいと思います。

フランスのパリ同時多発テロでも、多くの犠牲者が出ており11月に開催された地球温暖化対策としての温室ガス削減に向けた世界150カ国の首脳会議においても、国際社会が結束してテロ対策と合わせての重要性を確認したとのことで、日本も国際社会と結束してテロ対策を進める必要に迫られております。

日本経済においては、消費税増税や円安による食品値上りなどの影響で個人消費回復の足取りは重く、アベノミクスは難しい局面に差し掛かっています。

明るい方向としては、派遣法改正法案成立により原則3年という労働期限の撤廃によりシルバー人材センターにとっては、派遣就業が有利になりました。

28年度のシルバー人材センターに対する国の補助金予算は、交付基準の見直しが著しく昨年からの「高齢者活用・現役世代雇用サポート事業」が予算増額され、現在の人出不足や現役世代を支える分野の派遣の開拓業務の対象を、派遣の仕事全ての業務対象に拡大緩和され、更なる派遣就業の開拓と事業の推進強化が目標に掲げられ、新たに、「地域就業機会拡大事業」が新設され、シルバー事業と地方公共団体や商工会等の関係団体と連携することによる高齢者の雇用問題、活性化、経済等の発展に繋がる就業機会を創造する事業の提案が、全国1、300拠点シルバー人材センター事業でのやる気を促している。

安倍改造内閣では、「一億総活躍社会」の実現において、全国シルバー事業を入れる必要性を会議の中で自ら明言されており、シルバー事業40年という長い歴史の重みを感じております。又、26年10月に発足された衆・参両国会議員118名からなる「シルバー人材センター活性化議員連盟」の支援も受け、今後のシルバー事業に明るい兆しがみえてきたように感じております。

今年度においても、センターの円滑な事業運営と安定した財政運営を目指して「シルバー人材センター事業のあり方検討会」の提言を踏まえ、「就業の拡大」と「会員の拡大」を最重点課題として、今年度事業の中期計画の見直しを実行し、事業の展開を図って参りたいと思っております。

関係各位の皆様におかれましては、変わらぬご支援、ご協力を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

本年も皆様の益々のご多幸をお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。



事務局
局長兼務

監事

〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃

理事長
常務理事
理事

謹んで新年のご祝詞を申し上げます
皆様の健康とご多幸を
役職員一同心からお祈りいたします

岡崎 美弥子
高嶋 眞二
嶋 孝雄
谷 眞二
鴨 孝雄
三 敬
三 俊彦
山 智恵子
北 智恵子
上 賢治
佐藤 隆
武田 貴子
石角 修
若松 秀敏
田中 義隆
崎 則

職員
一同

高嶋 眞二



廿日市市長 眞野 勝弘



新年、明けましておめでとうございます。
廿日市市シルバー人材センターの会員の皆様におかれましては、健やかな新年をお迎えのことと謹んでお慶び申し上げます。

昨年の廿日市市長選挙において、市民の皆様のご支援を賜り、三期目の市政を担わせていただくことになりました。これからも、市民の皆様への負託に応えるべく、「笑顔と品格のある元気なまちづくり」を進めてまいりたいと考えております。

今年は、4年に一度のオリンピック・イヤーですが、8月のリオ・デ・ジャネイロ大会の出場権をかけた、ASTCアジアトライアスロン選手権が4月29日からの3日間、本市で開催されます。

アジア各国のトップアスリートが熾烈な鉄人レースを繰り広げる本選手権は、市民の皆様にも大きな感動と思い出を残すものと確信しております。

また、今年3月末には、JR廿日市駅の南北自由通路が完成予定です。駅を利用される皆様の利便性の向上だけでなく、南北の地区をつなぐ懸け橋となると確信しています。

さらに、平成28年度末にはJR大野浦駅の自由通路も完成する予定となっておりますので期待していただきます。

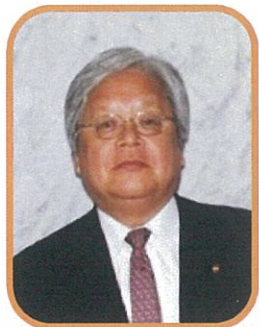
さて、わが国全体で人口減少の克服や、地域の活力維持が喫緊の課題となる中、本市では昨年10月に「まち・ひと・しごと創生人口ビジョン」及び「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定しました。

総合戦略では、地域経済の活性化、安心して出産・子育てができる環境整備などとともに、シニアの経験・技術を活用した雇用の創出にも取り組むこととしております。

今後も、市民一人ひとりが幸せに暮らせるまちづくりを進めてまいりますので、シルバー人材センターの皆様におかれましても、長年積み重ねてきた豊富な知識や経験を地域のために発揮していただきますようお願い申し上げます。

結びに、廿日市市シルバー人材センターの益々のご発展と、会員の皆様方のご健勝、ご多幸を祈念いたしまして、新年の挨拶とさせていただきます。

廿日市市議会議長 藤田 俊雄



あけましておめでとうございます。
廿日市市シルバー人材センターの皆様におかれましては、健やかな初春を迎えられたこととお慶び申し上げます。

さて、昨年末に広大な宇宙のロマンと日本の技術力の高さを感じさせるような出来事がありました。5年にも及ぶ宇宙空間での放浪の末に、見事に金星の軌道に乗った「金星探査機あかつき」の快挙です。主エンジンの故障で、金星軌道を外れて太陽軌道をさまよっていた「あかつき」を若い女性研究者の長年の軌道計算のもとに、関係者が一緒になってなしたことでした。会見には、若い女性研究者と共に比較的高齢のリーダーの姿もあり、老若そして性別の別なく協力した結果だとテレビ画面を通じて分かるほど暖かいものを感じました。高齢のリーダーの存在は、若い研究者の支えとなると同時に全体をまとめる核となるのだと改めて、高齢者の経験の大切さを実感いたしました。

本市におきましても、少子高齢化が進むなか、シルバー世代の皆様が健康で、楽しく働き、そのご経験で若い世代を導き、社会貢献をされることを願っています。

結びに、廿日市市シルバー人材センターの皆様方のご活躍を祈念申し上げます、新年のご挨拶といたします。



私は申年（さるどし）



「今年も両立で頑張るぞ！！」

友和班

斉藤 昭司

新年おめでとうございます。

干支のお猿さんが又やって来た、6回目なんです。

今年のお猿さん、何かしわが増えた様。私の趣味はドライブ旅行しながらの撮影。

18歳の頃にカメラを持って以来、分厚いアルバムも13冊。この4、5年はアルバムにも張らなくなったが、最近は旅のテーマを決めて日程を作っています。例えば、“何々川を逆登る旅”とか……。もう一つは、シルバー会員としての活動、今は小学校管理員、自分の孫や娘と年代の児童や先生とのやり取り、壊れたり、不具合になった物を修理して、感謝の言葉を聞いた時のあの心持ちは、何にも変え難いものです。先日も動かなくなった鉛筆削り機を直して教室へ持って行ったところ、担任の先生が私を黒板の前に立たせ、全児童に号令をかけて「直して下さってありがとうございました」と……。 “照れくさいやら、嬉しいやら”、私は顔が真っ赤になり、這う這うの体で退散しました。

これからも、趣味とシルバー会員の両立で頑張ろうと思っています。 よろしく願いいたします。



「年男をむかえ」

廿日市班

吉本 孝資

明けましておめでとうございます。

早いもので昭和19年12月生まれの今年6回目の申年「年男」を迎える。

昭和19年と云うと生まれて8か月後には広島に原爆が投下され、生まれてすぐの私には何もわからず、ただ物心付くころには戦後の何らかの感じは今でもはっきり覚えている。

宮島での進駐軍、観光道路（旧国道2号線）を走る進駐軍のジープ等。

廿日市小学校を昭和32年に卒業し、中学、高等学校と廿日市で過ごし、昭和39年のオリンピックの年は東京にて学生生活を堪能する。その時期の東京は、高速道路、地下鉄の建設ラッシュで表現できないほどの変化。卒業後は広島に帰り社会人として生活を送り、平成16年满60歳で現役を退職す。その後、縁あって平成18年に廿日市シルバー人材センターに入会、すぐに廿日市中央市民センターへの業務に就き、地元でもあり利用される方々と共に充実した日々を送らせていただきました。又、センターの専門部会では総務部会に属し、他の皆様方に指導を仰ぎつつもなんとか任期を務めさせていただきました。シルバー人材センターでは、人とのかかわり、付き合いなどを通じ、就業時においても非常に有意義な日々を送らせてもらっています。

今の世、退職後の人生色々言われていますが、人と縁、つながりは捨てたものでもないと思われる。最近廿日市天満宮のお世話をさせてもらっているが、一年四季折々の祭り・神事が有り、大変有意義な日々を送る。又、昨年は出版会社とも縁があり「ふるさと廿日市」と云う郷土誌の作成にかかわり、特に廿日市市の戦後、昭和30年～50年頃にかけての目覚ましい変わり様には、再度感心させられる。現在までを振り返り、時代を社会人として、廿日市市一市民として過ごした日々は自分なりにそこそこ満足しており、さらにこれからの先の日々を楽しく送って行こうと思います。

シルバー人材センターの益々の発展と皆様のご健康をお祈りいたします。



「新春に思うこと」

阿品台班

城戸 秀元

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

本年一月で七十二歳の年男になりました。

阿品台班の植木・剪定班に在籍十一年目、負傷・病気も無く、今日を迎えることができたのは、諸先輩方のご指導、家族の支えの結果であったと感謝します。活動十年の最近では、殆どの団地で施主の方が入院、或いは一人住まい、空き家が増えて高齢化がより進行している事が感じられます。

今後の目標も、元気な高齢者が不自由な高齢者を支える。この精神で一年一年が勝負と剪定班で社会貢献したいと思って居ります。

より自由な第三の人生、「従心」に入りたいと思っていますが、その前に今後の依頼件数増に備え、剪定班の会員増、班の数を維持又は増やす方策を考え提案します。

平穩、無事な年であるように。 本年も宜しく願い致します。

平成27年中の行事・活動など

1月 新年互礼会



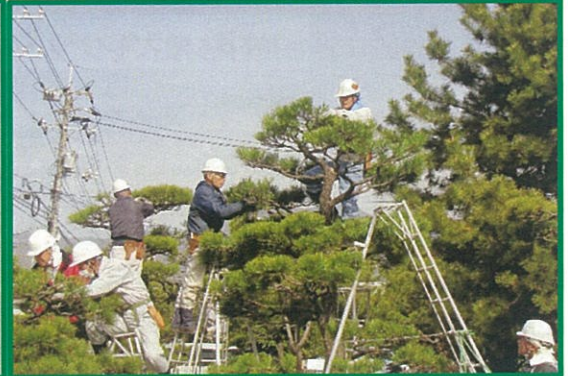
廿日市シルバー人材センター新年



1月 碁碁将棋



2月 植木の剪定講習会



3月 安全講習会 (熱中症)



佐伯会場



廿日市会場

4月 さくら祭り出店



7月 海のクリーンアップ



9月 「なごみの会」日帰り旅行（大久野島）



10月 グラウンドG（なごみの会）

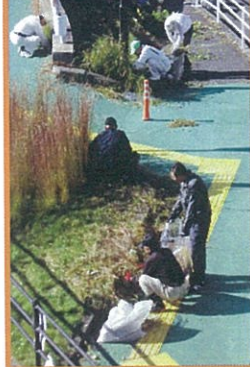


10月 全会員研修会
・マイナンバー
・認知症予防



218名参加

10月 シルバーの日 ボランティア清掃



11月 あいプラザ福祉祭り出店



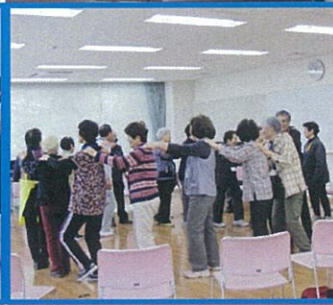


高齢者生活支えあい事業♥

血管年齢測定



平成27年度は、吉和地域・佐伯地域の2か所において「高齢者（幸齢者）生活支えあい事業」を実施しました。吉和で28名、佐伯では24名の合計52名のご参加をいただきました。参加者の皆さんには血管年齢測定に続いて、「認知症予防」教室。また女性会が腕を振った手作りの昼食（弁当）後は、楽しいレクリエーションで笑い声の絶えない一日でした。

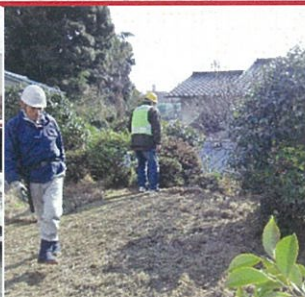


① 認知症の現状

高齢者人口の急増とともに認知症患者数も増加しています。2012年時点の65歳以上の認知症推定値は462万人で、10年後の2025年には700万人まで増加するとされます。
（厚生労働省発表）



「見逃すな ヒヤリで済んだ あの経験」 一声かけよう！ 安全パトロール活動



センターの安全・適正就業については、委員会のメンバーがあらゆる就業場所を訪問し、安全な就業に努めていただくよう、会員の皆さんに一声かけて事故防止の注意喚起を促しています。上記写真は左から託児所「なかとしルーム」、選定作業の危険箇所、食用油の回収作業、大型ごみの処分などです。このほかにも駐輪場や学校、市民センターなどの施設管理部門や除草作業、道路の維持補修など多くの就業場所を巡回しています。

シルバー会員100万人を目指して(全国SJC事業協会)



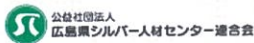
ここに咲く、新たな繋がり、自分の可能性。

会員募集中

シルバー人材センターでは、原則60歳以上の健康で、働く意欲のある会員を募集しています。



毎年10月第3土曜日は「シルバーの日」です!

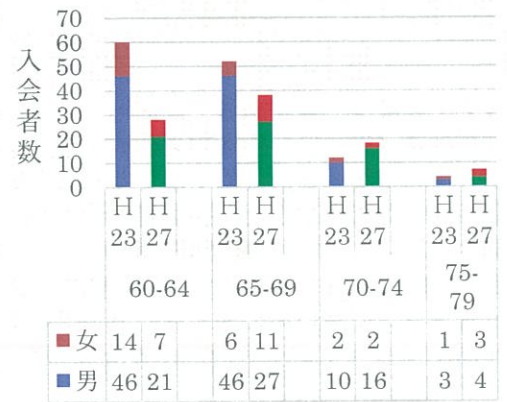


廿日市市シルバー人材センター

※上記ポスターは、平成27年に広島県SJC連合会が発行したもので、上半分の写真は当センターの託児施設「なかよしルーム」で就業する会員がモデルとしても活躍されました。

☆当センターの平成27年3月末時点の会員数は769名(男583、女186)です。平成29年度末に全国シルバー会員100万人を目指すためには、当センターでは、1010人以上の会員確保が必要です。平成23年3月末に908名であった会員数は年々減少しつつ、加えて女性会員の占める割合も25%~26%と低迷を続けています。また、新入会員の状況では、下図のように平成23年に比較し平成27年(緑・赤)では60歳台が減少傾向にあります。活力あるセンターを目指すため、会員の増強(特に女性会員30%の構成率)には、会員の皆さん一人ひとりが広告塔となり、入会促進にご協力をお願いします。

年齢別新入会員



年齢区分と入会者数

■男 ■女



夢サロン製作 干支 「三猿」

「センター事業の進歩発展の年に」

「丙申(ひのえさる)」の年、「丙」は「形が明らかとなってくる頃(さかんになる)」とされ、「申」の意味は、「伸ばす(伸びる)」。さらに一説では「申」は「去る」で「悪いことや、病が去る」、「いいことがやってくる」・・・とありました。今年は、一人でも多くの仲間を迎え「進歩発展」する「元気なシニア層の活躍年」であることを願っております。会員皆様の益々の元気と力強い後押しでご協力をお願いいたします。

本年も、事務局職員一同、よろしくお願ひ申し上げます。



※表紙写真 提供 若松 秀敏会員(友和班)

タイトル文字 瀬良 智恵会員(地御前班)